



環境省「自然共生サイト」に認定

綾町イオンの森と割付地区の日向夏畑

綾町と公益財団法人イオン環境財団が協働で環境保全に取り組んでいる「綾町イオンの森」と、隣接する「割付地区の日向夏畑」は9月27日、環境省の自然共生サイトに認定されました。認定は、昨年の「東洋紡綾の森」に続き、本町で2例目になります。「綾町イオンの森」は、綾中学校の校舎建て替えのためにスギを伐採した町有林を里山に還元しようと、平成25年から保全活動を行っている森です。

平成29年からはユネスコ人間と生物圏 (Man and the Biosphere) 計画のグローバル基準に基づいた里山づくりを行っており、これまでに2万本以上を植樹しています。そのほか、イオングループの協力でイオンモール宮崎に大型の「綾町イオンの森エリアマップ」が掲示され、活動内容やエリア内の動植物のPRが行われています。また、所要時間2時間の散策コースを利用した生涯学習や、綾中学校の生徒による炭素蓄積量調査など、環境教育の場としても活用が進んでいます。

今回の認定は、「綾町イオンの森」に植樹したヤマザクラなどの花木が、ニホンミツバチなど日向夏の受粉を助ける昆虫を育み、森の東側に広がる日向夏畑に実りをもたらしているこ

とや、希少な動植物が生息・生育していることなどが評価されたものです。自然共生サイトは、綾ユネスコエコパークの移行地域(※)に位置しています。ユネスコエコパーク推進室は今後も、生物多様性保全に注視した持続可能な循環型管理を実施するとともに、新たな付加価値創造に向けて取り組んでいきます。

※人が生活し、自然と調和した持続可能な発展を実現する地域

解説 自然共生サイト

森・里山・都市の緑地など、民間の取り組みなどによって生物多様性保全が図られているところを国が認定する区域のこと。認定されると、「OECM」として国際データベースに登録されます。



綾町イオンの森で取り組んでいる植樹活動

